

予防

新型インフルエンザ

日ごろから備えましょう!!

高病原性「鳥インフルエンザ」が世界的に流行しています。日本国内でも愛知県での発生は記憶に新しいところです。高病原性というのは、鳥類に対して病原性が高いということであり、人に対して病原性が高いということではありません。しかし、本来、鳥が感染する「鳥インフルエンザ」が人に感染する新型インフルエンザに変異したとき、世界的な大流行が起これと心配されています。

これまでにも、人から人へ感染する新型インフルエンザの世界的な大流行は、10年〜40年程度の周期で発生しています。

現在、新型インフルエンザは発生していませんが、ひとたび発生すると、人類にとっては未知のウイルスのため、ほとんどすべての人が免疫を持っていないことから、急速に世界的な大流行を引き起こす危険性があります。

また、1回の流行期間は、6週間〜8週間程度続き、何度か繰り返すと言われています。

WHO(世界保健機関)の報告では、鳥インフルエンザのヒトへの感染が、東南アジアを中心としたインドネシアやベトナム、エジプト、中国などで確認されており、新型インフルエンザは、いつ、どこで、発生してもおかしくない状況です。

新型インフルエンザ発生時には、一人ひとりが正しい知識のもとで対応することが、感染の広がりを抑え、被害をできる限り小さくすることが最も重要です。

新型インフルエンザ発生前の「今」からできる必要な準備を少しずつ始めましょう。

新型インフルエンザに備えるためのポイント

【正確な情報入手】

* テレビやラジオ、新聞を通じて、政府や自治体が発表する、正確で最新の情報を入手しましょう。

【必要な物品を備蓄】

* 新型インフルエンザが発

【緊急時の対策】

* 新型インフルエンザはいつ起こるかわかりません。家庭での対策も考えておきましょう。

「今、できること」と「発生・流行時の対応」



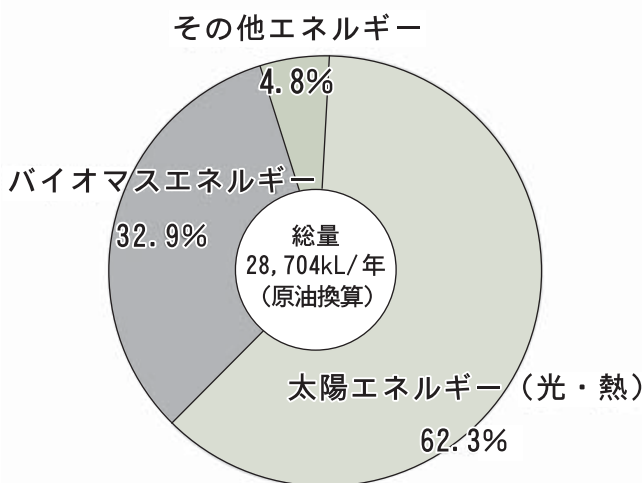
バイオマス資源のちよつとエコなヨ一ナ一

新エネルギービジョン (3)

山武市における新エネルギー資源の量は、原油換算量では、28,704KL/年(ドラム缶143,520本分)と推計されており、市内で必要とされるエネルギー量の約21%にあたります。ちよつとリッチな気分になりますよね。特に、太陽光エネルギーとバイオマスエネルギーが多くあります。

山武市では、これらの資源を有効に活用したいと考えていますので、ご協力をお願いします。

(4月号で、原子力が地球温暖化や資源の枯渇に影響を与えているような表現となっていました。しかし、そのような事実は確認されておりませんので訂正してお詫びします。)



山武市における新エネルギー資源量